活動事例紹介

七ヶ浜町広域協定運営委員会〔七ヶ浜町〕

取組面積:120.3ha(田119.4ha,畑0.9ha) 地区概要

資 源 量:水路 49.0km 農道 14.2km ため池 16箇所

令和3年度交付金

農地維持支払交付金

3,601千円

資源向上支払 (共同活動) 交付金

資源向上支払(施設の長寿命化)交付金

-千円 -千円

地域の概要

七ヶ浜町は、面積が13.19㎞と東北で最も小さな自治体です。三方を海、もう一方(西 側)は米など舟運のため江戸時代に開削された貞山運河に接しており、まちの四方が水辺に囲 まれたような地勢となっています。また、都市近郊のベッドタウンという位置づけでありなが ら、海岸部の景観や内陸部に広がる水田の風景は、住まいと豊かな環境が調和したまちづくり を印象づけています。そして、明治時代に開かれた東北初の海水浴場「菖蒲田浜」や三大外国 人避暑地の一つ「高山」を象徴するように、リゾート感漂うまち並みが本町のポテンシャルと なっています。

取組みの概要

本委員会は、6地区の構成員をもって、水路やため池、法面の草刈り、泥上げ、農道の路面 維持など様々な多面的機能の維持活動を展開しています。令和4年11月には、ラジコン草刈 機械や防草シート、田んぼダム、安全管理を学ぶ研修会を宮城県仙台地方振興事務所と七ヶ浜 町の協力のもと行いました。

取組みによる効果

コンパクトな地域ならではとも言える「顔の見える関係」が、農業においても築かれていま す。地区ごとの活動は参加率がとても高く、集まるといつも笑顔が絶えません。広域協定を組 織して9年目を迎え、年々まとまりが強くなってきた思いがあります。こういった活動の成果 として、水路や農道などが良好に保全されていると実感しています。

今後の課題

活動そのものは積極的になっているものの、高齢化が進展することへの不安は最大の課題と なっています。本町における水田の大区画化率は、令和3年度実績で83%と県内で最も高い 整備状況ですが、担い手の確保を進めるためにも、作業の効率化や安全確保をより一層推進す る必要があります。ラジコン草刈機械実演研修の場では、世代を超え、共にアンテナを高くし ながら情報を得ることの意義を参加者全員が認識したところです。

その他

東日本大震災において本町は、全域の36.4%もの津波浸水被害を受けました。水田に至 っては、実に98.9%%が浸水しました。この時、多くの人命、家屋を失いましたが、水田 や畑など我々の農地が更なる被害拡大を防いでくれたのです。瓦礫で埋め尽くされた田んぼ は、除塩と大区画化を行い、再び立派な稲穂を実らせることができました。本町にとっての農 地保全は、防災・減災、そして国土強靭化のためにも大変重要な意味を持ちます。未来永劫こ の誇るべき環境を伝えていきたいと考えています。



草刈作業前の集合写真





用水路泥上清掃作業



ラジコン草刈機実演研修



田んぼダム研修



農地の津波浸水被害 (東日本大震災2日後)